



第4回 Advanced Breast Conference



第4回となる今回は、座長に大阪ブレストクリニックの芝院長をお迎えし、8月5日（土）に大阪で開催いたしました。

当法人は Session II にて放射線診断科 佐々木医師、乳腺・甲状腺外科 四元医師、画像検査部 市木技師、金子技師による実際の症例を使用したカンファレンスを提示しました。当法人は基本理念「患者さんと共に歩む」に基づき、「チーム医療の原点はカンファレンス」を実践しています。画像診断部門においては、新病院計画に先立ちドイツ・シーメンス社から既に導入した最新のマンモグラフィ、超音波検査、MR-PET 検査による総合診断を行っています。現在、3D マンモグラフィ（トモシンセシス）を用いることで2D マンモグラフィでは隠れていた病変が確認でき、さらにマンモグラフィ画像を確認したうえで超音波検査を行っています。超音波装置ではエラストグラフィ機能で腫瘍の硬さを測定し、良性悪性の判断を行うこともできます。今回は、画像診断で悪性診断した症例を紹介し、その後針生検による病理所見も提示しました。

当法人のカンファレンスでは手術方針も検討・決定していますが、今回は造影 MR 画像に PET 画像を融合した非常に分かりやすいMR-PET の画像と PET による全身へのがん転移も同時に確認できることで、より患者の負担を少なくしたワークフローを紹介しました。

当法人は第4回 Advanced Breast Conference での発表施設の中で唯一、放射線科医師がカンファレンスに参加しています。今回当法人のカンファレンスを掲示させていただき、多くの医療参加者からは、「理想に近いカンファレンスであった」「大変参考になった」と感想を頂きました。

今後も当法人では患者にとって何が最優先されるべきかを考え、情報共有と合意のもとで全ての乳がん患者の方針をカンファレンスで決定して行きます。